

太公望たちの期待を直撃した 時期はずれの台風8号

太公望たちがまちに待った白川の鮎釣りが6月29日に解禁。しかし、生憎の台風8号が東海地方を直撃し、当日は晴れたものの前日から降り続いた雨で川は増水、台風の吹き返しの風で竿を思うようにあやつることもできず太公望たちをいらだたせました。

それでも腕に自信のある地元の人たちは、川のポイントや鮎の習性を知り尽くしているのか、一匹二匹と次々に鮎がタモへ飛び込んでいました。

気の毒なのは、都会から来た人たちで、遠くから足を運んだわりには収穫の無さに、鮎カンを観きながら時期はずれの台風を恨んだことでしょう。



広報 ひがししらかわ

1997
平成9年

7

No.433

人口の動き

—6月末住民登録人口から—	
世帯数	903 世帯
人口	3,290人
転入	10人
転出	12人
出生	1人
死亡	2人
先月と比較して3人減	
昨年と同月と比較して	
33人減	

行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会へ】

古切手=古田芳一(平)

タオル=安江節子(平)

飲茶10kg=東白川村茶業振興会

【社会福祉事業指定へ】

現金10万円=高木秀一(曲坂)

【東白川病院へ】

飲茶8kg=東白川村茶業振興会

【東白川中学校へ】

飲茶12kg=東白川村茶業振興会

【東白川小学校へ】

飲茶17kg=東白川村茶業振興会

マリーゴールドの苗300本=今井正三郎(西洞)

【神土保育園へ】

飲茶8kg=東白川村茶業振興会

【五加保育園へ】

飲茶5kg=東白川村茶業振興会

【越原保育園へ】

飲茶8kg=東白川村茶業振興会

眠ることは、休養の基本です。とくに、
大脳を休めるために、睡眠が重要だとい
ことがわかってきています。

年をとると、若い時のようにぐっすり眠
れないとよくいわれます。夜中にトイレに
起きてそのあと眠れない、とか、朝早く目
が覚て困るという人も多いようです。

これらは、程度の差こそあれ、お年寄り
に共通の生理現象です。ですからあまり気
にせず、眠れない時には、音楽を聞いたり
本を読んだりしましょう。

それでも不眠が気になる人は、一度お医
者さんに診てもらい、不眠の原因をたしか
めましょう。体や心の病気がないとわかっ
たら、つぎのようなことを試みましょう。

★夕方、軽い散歩をする。

★おふろはぬるめにし、好みの入浴剤を！

★おなかの空気が過ぎた時は、軽いものを

少量口に入れる。

★スローテンポの音楽を聞く

保健婦だより

「日本公園村心に残る五十景」 フォトコンテストの募集

中濃圏域の市町村では、「埋もれた資源の再発見」をテーマに「日本公園村心に残る五十景」フォトコンテストの作品を募集します。題材／中濃圏域内の埋もれた資源(四季の風景、自然、鉄道と沿線、伝統行事、芸能、習慣、街道、まち並、人の暮らし、特産物に係わる風景、その他)を発見、発掘という視点から表現したもの。作品／カラー、モノクロの四つ切り、大四つ切り、ワイド四つ切りのいずれか(パノラマ写真は不可)で自作・未発表のものに限る。応募締切／平成十年一月十四日(水)。応募方法／作品の裏面に応募票とビューポイントを表示した地図を貼り付け、作品に対するコメント(エピソード、思い出など)を添えて役場総務課企画財政係まで有線二二三〇

結婚祝い品を さしあげます

村では年間約十組の方たちが結婚されていますが、中でも村外からの転入者の方は、過疎化がすすむ村にとって人口増加の一役を担っていただいております。そのため、平成九年四月以降に結婚された方の中で、村外から転入された方を対象に、お礼の意味も含めてお祝いの品をお渡しすることになりました。東白川村に早く親しんでいただけるように村長のメッセージも添えています。くわしくは／役場住民課まで有線二一五一



4月12日に挙式され
村の住民となった安江孝子さん(曲坂)

わんぱく教室に 参加しませんか

可茂保健所では、小児期から健康的な生活習慣を身に付けることを目的にわんぱく教室を開催します。期日及び場所／平成九年八月二十日(水)午後一時三十分～三時三十分 可茂総合庁舎 平成九年八月二十七日(水)午後一時三十分～三時三十分 美濃加茂市西総合グラウンド屋内運動場 平成九年九月九日(火)午後一時三十分～三時三十分 可茂総合庁舎 対象者／三歳から六歳(就学前)のお子さんとその保護者 内容／講義(小児の生活リズムと成長等)親子体操・親子クッキングほか 申し込み期限／平成九年八月十三日(水) 申し込み・問い合わせ／可茂保健所 ☎〇五七四―二五―三一一 内線三六四

私たちの回りには、あらゆる物があふれており、金さえ出せばほとんどの物が手に入ります。その結果、私たちの生活は豊かになり幸せな生活を送ることができています。

しかし、これに比例するようにゴミの量は増加の一途をたどり、ゴミや廃棄物を処理する公共の施設は満ぱいとなって、今やゴミをどのように処理するかが大きな問題となっています。

今回は、皆さんが家庭から出た生ゴミをどのように利用されているか。また、ビンや空缶はどのように処理されているかを探ってみました。

使えば資源 捨てればゴミ

— 台所から地球環境を考える —



廃棄物の 中には //

私たちの生活や事業の中から出るゴミは、廃棄物といわれ、事業から出る廃棄物を産業廃棄物、生活の中から出る廃棄物を一般廃棄物といいます。

Q、産業廃棄物とは何ですか。

A、建築したときの木くずや建設廃材など事業活動によって出た廃棄物をいいます。公共下水処理場から出た汚泥も産業廃棄物に含まれ、これらの産業廃棄物は許可を受けた処分場であれば処理できません。

Q、一般廃棄物とは何ですか。

A、私たち生活の中から出た燃えるゴミ、燃えないゴミ、し尿及び浄化槽汚泥を一般廃棄物といいます。この一般廃棄物の中には、個人が処理して良いものと不燃物や浄化槽汚泥のように許可を受けた処分場でなければ処理できないものがあります。

Q、家の改築から出た廃材を自分の山林に捨てていいですか。

A、建設業者が請けて施行した場合は産業廃棄物になり、処分業者に処理させていただきます。施行主が本人でも自分の山林に捨てることは、村の自然保護条例に違反しますので一か所に整理し、適切に処



私たちの生活の中でゴミをなくすことはできませんが、減らすことは可能です。次のように心掛けてゴミをつくらないように工夫してください。

■余分な袋（包み）はもらわない
余分な袋（包み）はゴミになります。断る勇気も持ちましょう。（協力くろいぬやさん）

ゴミを減らす工夫



■外食時は早めの電話を
モシモシ
今晚外食するから……



■食事は残さず
生ゴミをいっしょに燃やすと有毒ガス（ダイオキシン）の発生原因にもなります。残さず食べるか、おかずをつくり過ぎないようにしましょう。

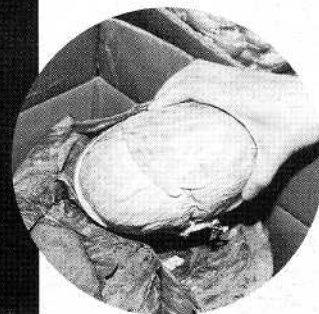


食事がムダになり、生ゴミになることがあります。早めの連絡が防止につながります。

もう少し早く電話ちょうだい。
夕飯できちゃったじゃない。



ちょっと待って、！



■買いためはやめましょう

買いためした食品が冷蔵庫の中で傷んでしまうことがあります。冷蔵庫の中に長期間置かないよう工夫をしましょう。

理してください。

Q、食品加工から出た動植物の残り物を山林に捨ててもいいですか。
A、営利を目的としての行為の中で、薬剤等を使用したものは、産業廃棄物になります。残り物を燃えるゴミとして指定したところに出すか、堆肥等にして下さい。山林等に捨てることは禁示されています。

Q、畜産農家のふん尿を直接農地や山林に置いてもいいですか。
A、ふん尿は、必ず堆肥化してから農地へ還元してください。直接の場合は産業廃棄物となり処分業者に処理させてください。

Q、自家用軽トラックを廃車して自分の山林に捨てるか埋めてもいいですか。
A、自動車は不燃物であり、廃油やプラスチック等の有害物質が含まれていますので、産業廃棄物となります。必ず処分業者に処分を依頼してください。農機具等も同じです。

Q、ペットボトルを自宅で焼却処分しているが問題がありますか。
A、この四月から容器包装リサイクル法が施行され、ペットボトルは再商品化義務の対象となりました。

村では他の町村と連携して、行政が集める方向で検討しています。

プレリサイクル (ゴミにする前の資源)

捨てればゴミ
しかし、それをうまく活用すること
をプレリサイクルといいます。

■鯉のエサ

毎日、台所を預かる主婦の有田恵実さん(下親田)は、鯉のエサとして生ゴミを活用しています。「そのまま池に入れると谷に流れる」と潮干狩りの網袋に入れた工夫がされていました。



■作物の肥料

作物の肥料として生ゴミを活用しているのは日向の安江たがえさん。八年前からボカシと生ゴミを混ぜ合わせた有機肥料で作物づくりを行っています。ボカシは、酵母菌や乳酸菌など有効微生物群を米ぬか、もみ殻、魚粉などを混ぜ合わせたもので、生ゴミと混ぜ合わせると悪臭の原因となる腐敗を防ぎ、発酵した有機肥料になります。たがえさんは「環境を守るために、ボカシを普及したい」と話してくれました。



■家畜の飼料

日向の熊沢光介さんの家族は六人で毎日、家庭から出る生ゴミの量は、小さなバケツに約半分。それを家畜のわとりに与えています。餌としては百羽のわとりにには当然足りません。しかし、こうした利用によってゴミを減らし、餌の足しにもなっています。熊沢さんは、餌にも工夫を凝らし、家畜の悪臭防止に気を配っていました。



プレリサイクル

の推進

家庭からのゴミとして排出される一般廃棄物の中には、プラスチック、紙、生ゴミなどがあります。これらのゴミは、処理施設に回収され、燃焼や埋め立てによって処理されていますが、近年のゴミの増加により、処理施設では困難を来しています。

その対策として、現在、新しい処理施設を建設中ですが、ゴミに事前に新たな利用方法で、ゴミの排出抑制をすることが大切です。

その利用方法として考えられるのは、生ゴミは農作物の肥料や家畜の飼料などが考えられます。また、牛乳パックや空缶、ビンなどは、部屋のインテリアなどにも利用でき、こうしたプレリサイクルで、ゴミを減らすことが可能です。

可燃ごみ市町村別増加量(単位 t)

	平成6年度	平成8年度	(H8)-(H6)	増加率
美濃加茂市	8,303	8,787	484	5.83%
可見市	16,669	19,062	2,393	14.36%
坂祝町	1,232	1,322	90	7.31%
富加町	768	757	-11	-1.43%
川辺町	1,110	1,096	-14	-1.26%
七宗町	322	320	-2	-0.62%
八百津町	817	1,037	220	26.93%
白川町	238	222	-16	-6.72%
東白川村	39	44	5	12.82%
御嵩町	2,348	2,366	18	0.77%
兼山町	324	357	33	10.19%
計	32,170	35,370	3,200	9.95%



■資源ゴミの回収

村では金物、ガラス、陶器類の不燃物や新聞紙やダンボールなどは、子どもたちによる廃品回収や年数回の収集日によって回収されています。

この回収された廃品は、美濃加茂市の公共処理施設に運ばれ、ガラス、プ

リサイクル (ゴミの再利用)

■アルミ 有瑠美会の空缶回収



ラスチック、金物など、物質ごとに手作業によって分別され、再生できる金物やガラス、紙などはリサイクル業者へ渡ります。いわゆる回収されたものはゴミではなくて資源であるということと、新たな命を持って生まれ変わります。しかし、リサイクルできる物の中に、その他の物質が混入しているとリサイクルできません。例えば、空缶の中にたばこの吸殻が一つ入っているだけで、全部がだめになることがあります。

自然から生まれる資源には限りがあり、また、不法投棄を防止するためにも再生できるものはリサイクルに心掛け、空缶一つでも資源であることを忘れてはいけません。



処理施設で、回収された空ビンの破片を色ごとに分別している様子。そして新たなビンに再生されます。(可茂衛生処理施設)



有瑠美会の皆さんは、環境保護と福祉活動のまさに一石二鳥のこの活動に皆さんの協力を願っていました。

アルミ缶をリサイクルして、福祉に役かっているのは、有瑠美会(会員数二十一人)の皆さん。年に数回アルミ缶を回収してトラックいっぱい積み込み、美濃加茂市の缶工場まで運んでいきます。*当たり六十円、一回につき売り上げ代金約一万五千円程度ですが、これを積み立てて購入した福祉器具を福祉施設に寄付されています。

不法投棄は

美しい村づくりの敵

野外での余暇活動が増加することによって、心ない人の不法投棄(ポイ捨て)が目立つようになりました。主要道路や林道の待避所の周囲には必ずといっていいほど雑誌や空缶、金物クズが落ちています。

こうしたゴミは、車からのポイ捨てが多いように思われます。

村では今年度から五人の環境保全監視員が、自然環境保全条例に基づいて、監視と指導を行っています。不法投棄を防止するために一番大切なことは、発見したらその場で注意をすることです。

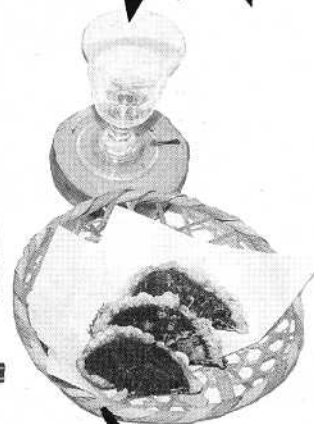
岐阜県では、自然環境の保全と快適な生活を営むために、監視モニターと環境モニターを設置し、このモニターから県へ通報がありますと、県と村が現地調査に入り、指導をすることになっています。

明らかに不法投棄と分かり、注意できない場合は、車のナンバーと車種を役場環境課へご連絡ください。

この豊かな村の自然と景観を維持していくためには、「自然をすろう」という皆さん一人ひとりの気持ちと協力が必要です。「みんなの村、みんなで美しく」を心のテーマに豊かな自然を後世まで残すことが私たちに課せられた責務です。

最優秀賞

作品名「食べれ葉アラカルト」
▼安江滝子さん・安江千伴子さん（上親田）



森の葉がしまつり

村のイベントとして定着した朴葉ずしまつりが、六月十五日にはなのみき会館で開催され、木の葉料理コンテストをはじめ、森のコンサートなど様々な催しが行われました。

料理に益々磨きがかかった

木の葉料理コンテスト

今年で四回を数える森の朴葉ずしまつり。やはりメインは木の葉料理コンテストで、村内外から四十二点の作品が出品されました。

作品は、回を重ねる度にグレードアップしており、木の葉を生かした寿司やケーキなど和洋折衷、国籍を問わない趣向を凝らした料理が並べられていました。

審査は、このコンテストのお馴染みとなった岐阜グランドホテル和食調理部長の廣岡和功氏をはじめ五人の審査員と出展者全員が、展示作品とは別に作られた試食用の料理を、見て味わっての一次審査を行い、十一人に絞られた作品を、再度、審査員だけで二次審査を行いました。

審査長を務めた廣岡さんは「どれも味がいいし、高度な技術で作られている」と絶賛。その他の審査員の皆さんも「視覚、味覚とも洗練されている」とレベルの高さに驚いていました。また、岐阜部品へ研修に来ているフィリ

木の葉料理コンテスト

木の葉賞

春一番のおたのしみ
朴葉の香り水ようかん
豆腐とうなぎのみようがテリーヌ
柿の葉納豆はさみ揚げ
油揚げの香り焼
月桂樹の若葉ソーセージ
CHICKEN LIVER MAYONASE
STIP-FRIED VEGETABLES

お茶の葉の白あえ
白川新茶ケーキ
田舎ふるさとの味

商工会長賞
農業協同組合長賞
森林組合長賞
観光協会長賞
郵便局長賞

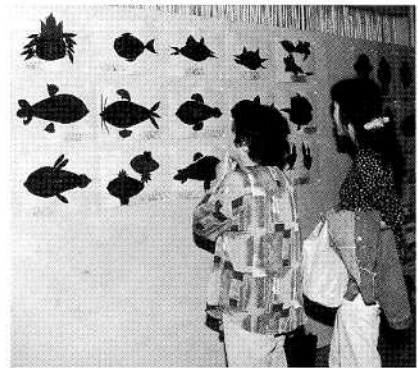
ふるさと企画賞
特別賞

熊沢梅子（日向）
嶋倉美里（大明神）
新田エツ子（加舎尾）
安江照子（中通）
神戸啓子・沢木紀代子・伊藤ますみ
松尾正和（岐阜市）
岐阜部品Cグループ
岐阜部品Aグループ
味の館
安江利江子・内木尚子
汲田喜久江（白川町）

（敬称略）

ピンの皆さんのフルーツを盛り沢山に使った作品も、日本人好みの味に仕上がりが、たいへん好評を得ていました。

このコンテストで見事に最優秀賞の栄冠に輝いたのは、下親田の安江滝子さんと安江千伴子さんの共同作品「食べれ葉アラカルト」が選ばれ、滝子さんは、「家族のアイデアのおかげ」と喜びの声を聞かせてくれました。



▲華道クラブや山月会の皆さんの感性あふれる
作品が並べられた森の生け花展

▲神土・越原・五加保育園の園児
たちによる木の葉絵ギャラリー

まつりを盛り上げた 様々な催し

このイベントの来場者を満足させたのは、木の葉を利用した数々の体験工房。特に人気を集めていたのは朴葉ずし教室で、村外からの大勢の参加者で部屋が埋め尽くされました。

この教室には、村の主婦三人の皆さんが講師を務め、参加した皆さんは、スタッフの朴葉ずしの由来の話や講師の説明に耳を傾け、食中毒が多い時期とあって、特に具の選択やずしの食べごろに心が持たれていたようです。

説明のあとの実践では、用意された具で、思い思いにすしづくりを体験。

犬山市から来た主婦は「本場の朴葉ずしの作り方が知れたかった」とこの教室に参加し、色鮮やかな飾り付けに満足しているようでした。

また、別館では、陶芸の体験や木の葉カード、アクセサリーづくりが楽しめる体験工房が開催され、別館二階で行われた陶芸教室では、もみ

▲好みの具をトッピング
村外からの来場者に大好評の朴葉ずし教室



▲パウチフィルムに木の葉をはさんで出来上り!!
木の葉カード工房



▲木の葉を模様皿づくりに体験!!
木の葉陶芸教室

じやハナノキなど好みの葉を絵柄模様に皿づくりを体験。参加者たちは陶芸サークルの皆さんの指導の元で、木の葉をいろんな方向に向けながら感性を生かした皿づくりを楽しんでいました。そのほか、別館入り口付近の部屋では、パウチフィルムに木の葉をはさみ込んだ木の葉カードづくりや草木染の体験、また、朴葉を裏に貼り付けて形どったポストカードづくりが行われ、今年の四月にこの村へやってきた神土保育園の左合しおりちゃん(平)は、以前までお世話になっていた保育園の先生に「この村の雰囲気を感じよう」とこのポストカードでお手紙を書いていました。

観客たちにやすらぎを与えた 森のコンサート

森のコンサート

このまつりで、森の雰囲気十分に演出してくれたのは、はなのき会館のホールで行われた胡弓とピアノのアンサンブルによる森のコンサート。弾き方も音色もバイオリンに似た中国古来

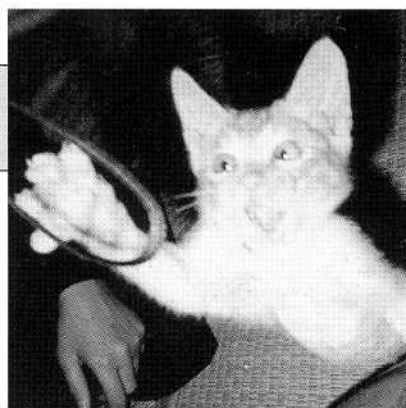
の楽器「胡弓」とピアノの音色は観客たちを森の奥深くまで誘うような心地よい気持ちにさせてくれました。コンサートは、全十三曲で、「アベマリア」や「荒城の月」など誰もが一度は耳にしたことのある曲も取り入れられており、観客の中には、口ずさむ人、目を閉じて安らいでいる人など、普段の忙しさから開放されているようでした。

来場者約四百人を集めた森の朴葉ずしまつり。そのほかにも木の葉生け花展や保育園児たちの木の葉を使った動物や虫などの絵が展示され、イベントを演出していました。また、屋外では朴葉ずし、木の葉うどん、朴葉もちなど木の葉にこだわったメニューで人気を集めた朴葉ずし茶屋が開設。いつもは脇役の木の葉が今日は主役で、多くの皆さんに興味を抱かせ感動を与えた一日となりました。



▲観客たちを魅了した胡弓とピアノのアンサンブル
森のコンサート

元気村の『出来事情報』



ネコでもトラジロウ。甘えん坊で、じゃれるのが大好き。大沢の今井純子さん



お茶の手揉みを体験する子どもたち

子どもたちが行ったのは、水分を取りながら形づくりをする揉みきりと言われる工程から。子どもたちは、初めての体験にもかかわらず「いい匂いがする」と言いながら器用に茶揉みを楽しんでいました。

手揉み茶の工程は、葉ぶるい、回転揉み、揉みきり、でんぐり、こくりの順で行われますが、子どもたちが行ったのは、水分を取りながら形づくりをする揉みきりと言われる工程から。子どもたちは、初めての体験にもかかわらず「いい匂いがする」と言いながら器用に茶揉みを楽しんでいました。

手揉みは製茶技術の基本!!

体験

六月十六日に東白川小学校では、六年生三十四人がお茶の手揉み体験を行いました。この体

私たちは今こう思います

主張

中学生では、家族や環境問題を題材に、自分の経験やテレビなどからの情報を取り入れた発表をしてきました。また、高校生では、今井雅代さん（大沢）が時間をテーマに、鈴木永尚さん（陰地）は村の問題点を例に上げ、「輝く田舎を作っていかなければ」といった村への願いを語ってくれました。今回発表してくれた中で、中学三年の安江章徳さんは中学生を代表して、可茂地区の審査を受けました。

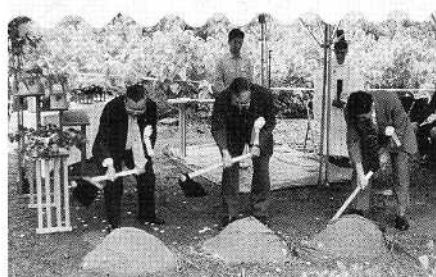


村の活性化について熱弁をふるう鈴木永尚さん（陰地）

村の子どもたちが、普段、家庭や学校、また、村や地域に対してどのような考えや意見を持っているかを発表する青少年主張大会が六月七日にはなごき会館で行われました。これは、毎年、村の青少年健全育成村民会議が子どもたちの意見に耳を傾け、今後の健全育成に役立てようとして行っているものです。発表してくれたのは、小学生から高校生までの十人の皆さん。小学生は、障害者やお年寄りなど弱者を守る気持ち、また、村の自然を大切にといった素朴な心暖まる発表をしてきました。中学生では、家族や環境問題を題材に、自分の経験やテレビなどからの情報を取り入れた発表をしてきました。また、高校生では、今井雅代さん（大沢）が時間をテーマに、鈴木永尚さん（陰地）は村の問題点を例に上げ、「輝く田舎を作っていかなければ」といった村への願いを語ってくれました。今回発表してくれた中で、中学三年の安江章徳さんは中学生を代表して、可茂地区の審査を受けました。

広域基幹林道「尾城山線」の工事に着手

着工



田口白川町長らによって鍬入れが行われました

この林道が開設されることによってこの地域の銘柄材「東濃ひのき」をはじめとする木材の搬出が効率的になり、今後木材産業の活性化が期待されます。

平成八年度に国の認定を受けた広域基幹林道「尾城山線」の起工式が、七月八日にこの林道の起点である白川町佐見地区で執り行われました。起工式には、関係者約七十人が出席して神事や式典が行われ、神事では、事始めとして鍬入れや鍬入れなどの儀式に続き、工事の無事を願って、新藤秀逸県議らが玉串を奉納しました。また、式典ではこの林道の開設促進協議会長である桂川村長が「この林道は二十一世紀に向けての動脈として期待している」とあいさつしたほか来賓が祝辞を述べられ、関係者は工事の着工を祝いました。この林道は、白川町、東白川村、加子母村の三町村をまたいでおり、起点から西洞の藤島峠を越え、中谷、神付、曲坂、日向を通り、加子母村小郷地区で国道二五七号線に接続する総延長三十二キロに及ぶ広域林道です。

話題集まれ!



オープンした食の体験工房「味彩」

でもらいました。また、オープンの七月五日、六日には陶芸や工芸などが体験できる記念イベントも行われ、多くの来場客で賑わいました。

こもれびの里に新しく食の体験工房「味彩」が仲間入りし、六月二十六日に関係者約七十人が出席して竣工式が行われました。式典では、横山可茂県事務所長と村長によるテープカットやこの施設の自慢であるパンづくりのオープンへの点火式が行われ、施設の完成を祝いました。

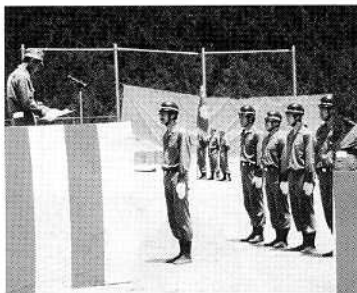
この施設は、一度に五十人がパンづくりや郷土料理の調理体験が可能で、焼きたてのパンなどは、試食レストランで味わうことができ、この日、白川町の心身障害者授産施設「白竹作業所」から二十三人を招き、パンづくりを楽しんでもらいました。

こもれびの里に 食の体験工房が誕生!

充
実



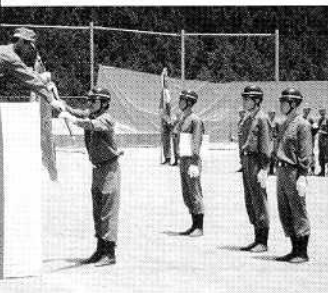
森の交流大使の栗田妹由子さんの指導でパンづくりを楽しむ白竹作業所の皆さん



ポンプ自動車の部で優勝した
第1部自動車ポンプ

この大会は、ポンプ操作、規律、タイムを競うもので、小型動力ポンプの部で九チーム、ポンプ自動車の部では二チームが出場し、十二日間の訓練の成果

小型動力ポンプの部で優勝した
第1部第5ポンプの皆さん



で開催され、団員たちの熱戦が繰り広げられました。

緊張感が漂う中、「操作始め」と指揮者の号令で一斉に操作を開始する要員たち。前方の標的に向かって延ばされたホースとともに「ヨッシャ」の声援。

熱戦を展開した 消防操法大会

白
熱



敏速的確なポンプ操法を行う団員たち

を披露しました。団員たちの優れた操法技術は見事なもので、大会を見守る皆さんに、村の財産を守る消防団としての安心をも与えたようです。

白熱したこの大会で優勝に輝いたのは、小型動力ポンプの部で、第一部第五ポンプ。ポンプ自動車の部では、第一部自動車ポンプが制しました。そして、七月六日には坂祝町で加茂郡消防操法大会が開催され、本村を代表して第三部自動車ポンプが出場。結果は四位と入賞を逃しましたが、伝統ある村の消防団として、恥じない操法を展開してくれました。



加茂郡消防操法大会へ村を代表して出場した第3部自動車ポンプの皆さん

■東白川村消防操法大会の結果(敬称略)
【小型動力ポンプの部】優勝：第一部第五ポンプ、準優勝：第三部第七ポンプ、第三位：第二部第三ポンプ
【ポンプ自動車の部】優勝：第一部自動車ポンプ【個人表彰】▼小型動力ポンプの部/指揮者：村雲昭仁(第七ポンプ) 安江昭久(第五ポンプ) 一番員：安江章浩(第五ポンプ) 二番員：古田耕一(第三ポンプ) 安江周哲(第五ポンプ) 三番員：安江順貴(第五ポンプ)
▼ポンプ自動車の部/指揮者：田口義孝(第一部) 安江真博(第三部) 一番員：大岩裕尚(第一部) 今井明義(第三部) 二番員：安江明凡(第一部) 三番員：安江淳(第三部) 四番員：村雲治幸(第一部) 安江智樹(第三部)

なごやか村の『人情報』

お便り

朴葉ずしまつりに参加して

岐阜市加野

廣岡和功



岐阜グランドホテル

和食調理部長

廣岡和功さん

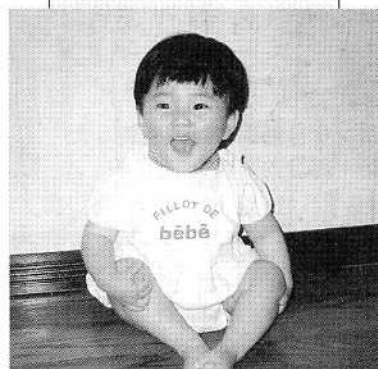
お料理づくりは楽しくて美味しいものであって欲しいと日ごろから思っています。今年の最優秀賞の「食べれ葉アラカルト」はもちろん「これがゴヘイダ on 朴葉」などネーミングも大変楽しいものばかりでした。また、特産品には新茶ケーキはいかがでしょう。村の皆さん今後とも楽しくなるイベントを考えてください。応援します。皆さんの温かさが幸いです。



小学校の水泳教室より



このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればおう！
1歳のあの子の顔が……



▲ 牧野 朝香ちゃん
(勇三さん・ひとみさん
=日向)



▲ 今井 希保ちゃん
(英史さん・ちなつさん
=大沢)

仲間をたすねて



東白川小学校では、金曜日のクラブ活動の時間に、ピロティから何やらタイヤをポコポコたたく音が。実をいうとこれは今年四月に発足した太鼓クラブの子どもたち九人が、十月二十九日に個性化教育の発表の場で披露する「茶摘み太鼓」の練習をしているもので、松茶太鼓保存会(代表今井邦光)の皆さんが指導にあたっていました。



なんども繰返し練習をする子どもたち。
格好もサマになってきました。

あってかみんなの息も徐々にピツタリに。パチをさばく姿にも風格さえ感じられるようになりました。

このクラブは発表後も活動が続けられるそうで、メンバーの一人、安江裕美さん(大明神)は「将来も続けてやりたい」と保存会にとって明るい言葉を聞かせてくれました。

みんな仲間だ！

消息

6月1日～6月30日

(敬称略)

●いつまでもおしあわせに

{村雲 昭仁(曲坂)
水谷 理佳(四日市市)
後藤 好史(陰地)
荒木 恵美(萩原町)}

●誕生おめでとうございます

(上親田) 古田 耕一 そういちろう
幸子 総一郎

●おくやみ申し上げます

土井 義美 68歳(宮 代)
高木 マツノ 88歳(曲 坂)

職場から

白川茶屋

今回は、村の農業婦人のパワーが結集されている店といっても過言ではない白川茶屋を訪ねました。

この店は、村の農業婦人「美味作」によって運営され、現在会員は48人。採れたての野菜や朴葉ずし、朴葉もちなど田舎ならではの旬を売り物にしています。

この店がオープンして2周年。6月15、16日の二日間には感謝祭が行われ、大勢のお客さんで活気に満ちていました。店を訪れる人たちのほとんどは村外の人たちで、農業婦人の皆さんの笑顔と方言が都会の人たちに受けているそうです。決して大きな店ではありませんが、農業婦人の皆さんの情熱が、都市とのパイプ役を担っていました。

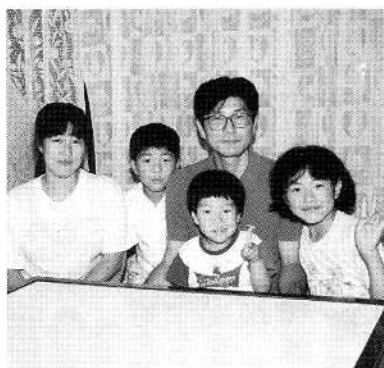


今回は、今年三月に長野県白馬村から、この村へ転入された柏本の杉田さんご一家を訪ねました。
杉田さんご一家は、ご主人の正和さん、奥さんの智美さん、そして、五年生の明日香ちゃん、二年生の大和君、四歳の悠人ちゃん、の五人家族。ご主人は、山

さんの両親が住むこの村へ一家揃ってやって来ました。
自然が大好きなご主人は「家庭菜園や魚釣りが出来る」とご満悦。子どもたちも「友だちがたくさん出来て」とこの村が気に入りの様子。杉田さんご一家は「この村に定住したい」と話してくれました。



プラス3



左から杉田智美さん・大和くん
正和さん・悠人ちゃん・明日香ちゃん

口県出身で、西洞に実家がある奥さんとは、以前に勤めていた奈良県の会社で知り合いの職場結婚。その後自然に開かれた生活を望んで白馬村へ移転されましたが、「将来を見据えた生活を」と奥

ホットアングル



は、九十六年前の明治三十四年のこと。この梅干の所有者、神戸正弥さん(平)のいとこの今井弘毅さん(神付の直道さん

と姿を変えたの梅干がいました。梅から梅干へ年間も暗室に眠り続けていた梅干がいました。

少し前までは弁当のふたを開けると中央に偉そうに座っていた梅干。最近では、ふりかけに化けるかおにぎりの中で眠っているかのどちらかでは

の父)が生まれた年に「丑年の梅干はいい」と漬けられたものだそうです。
今では、この梅干もすっかり年老いたのか、すでにミイラ化しており、塩だけが目立っていますが、神戸家の宝として、これから永遠に眠らせておくそうです。



100年たって目をさました梅干したち

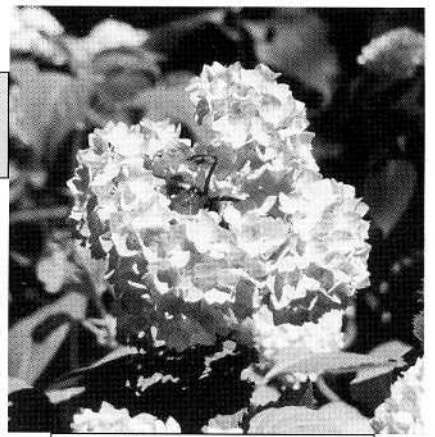
知ってほしい『生活情報』

社協から

デイサービスセンターせせらぎ荘では常時ボランティアさんの受入をしております。

ご都合のつくちよつとした時間に、せせらぎ荘にみえるお年寄りの話相手や介護のお手伝い、身の回りのお世話などをしてくださる方は、左記までご連絡下さい。(有線)

社協 二〇九八
せせらぎ荘
二七三七



庭先や道沿いに咲くあじさい
この花を見るとつゆを感じさせます

課題を追う

農業は総合産業

その利点を生かすには

Ⅱ 複合経営の提言 Ⅱ

「うちの子供は頭が悪いから百姓でもやらせるより仕方ない」

今でもこれに似た親の言葉を聞くことがあります。農業はそんな職業でしょうか？

とんでもない。正反對です。決して強がりと言うのではなく、たとえば、植物の品種、その特性、育つ気象条件、肥料、病害虫対策。これだけ並べただけでも、植物、気象化学、生物などの知識が無ければできません。

言い換えれば、農業は、植物学、地球物理学、化学、生物病理学などを総動員して、それでも百パーセントコントロールすることができないものなのです。

そのうえ、加工、販売まで加わると、単純な「農業」という言葉の枠を越えてしまいます。

農業のすべての分野に公共的な保護を求め、期待することはできない中で農業を経営するためには、高度な知識と技術と、経験と、そして経営センスが必要です。

東白川村の場合、さらに経営農地の規模の確保という問題がありますが、広い農地を使って一種類の生産物を大量に生産販売する、いわゆる「単作農業」は望むべくもない状況ですから、当然「複合農業」の方向になるでしょう。

村の総合計画では、この「複合」をもっと広い意味でとらえ、今ある農地を有効に利用して少量でも各種の農作物を栽培し、一方で、たとえば民宿かコテージなどを経営する。都市から客を迎えて農作物の栽培体験や、郷土料理を提供する。といった、農業と商業が複合した「農家経営」を提案しています。そしてその型を集落単位くらいに広めた「複合農村経営」が新しい村づくりのひとつの姿です。農村に住む人自身が農業や農村を見直す時です。

▼ かぼちゃを栄養たっぷり

ぶりのデザートに▲

夏に出回る緑黄色野菜とのも一つとしてあげられるのがかぼちゃですが、かぼちゃ料理の定番は煮物、揚げ物、スープやサラダがあります。

今回は、手軽に作れるかぼちゃのアイスクリームの作り方を紹介します。

ボールに卵黄二個と砂糖五〇gを湯せんにかけて泡立て、煮立てた牛乳一カップを加えて混ぜる。

かぼちゃ二四〇gを皮ごと蒸してつぶし、先程のボールに移しバナナエッセンス少しを加え、金属製容器で縁が少し凍るまで冷やします。生クリー

ム四分の一カップをとろみがつくまで泡立て、かぼちゃの容器に混ぜ、再び冷蔵庫で冷やし、時々スプーンで空気を含ませるように混ぜるとやわらかく出来上がります。

▼ 子どもが

エアバックとなる▲

お父さんが車を運転し助手席のお母さんはひざの上に幼い子どもを乗せている。よく見られる光景です。しかし、車が時速四十kmで衝突した場合の衝撃は、体の約三十倍、体重が十kgの子どもで、衝突のときは三百kgの荷重がかかり、前へ飛び出していくのです。ですからお母さんの両腕では支えきれません。親はシートベルトをしているので命が助かって、子どもはお母さんに抱かれていた状態で前に激突します。顔はダッシュボードにめり込み、さらにお母さんのエアバッグ代わりとなってしまうのです。

チャイルドシートは、こうした悲劇を起こさないための子どもの命を守る座席です。今日から実践してください。

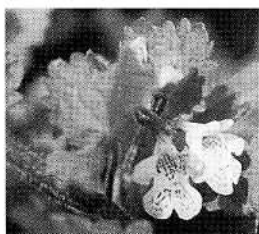


輝く田舎の『文化情報』

道端などに生える
つる草、春に花を
つける。タイムに
似た芳香があり、
肉料理に向く。

「カキドオシ」

これらは本来野草であり、ハーブとしての目的のために栽培され改良も加えられたとはいえ、野草の特性を残しているからこそ、単なる野菜とは違う価値感で、今多くの人々の間に静かなブームを呼んでいるのだと思います。それではいっそ本物の野草の中にハーブとして使えるものはないかと調べたら、ありました。



このごろハーブの人气が高まっていますが、タイム、セージなどの代表的なハーブ（薬草・香味草）は西洋の肉や魚料理に欠かせないものとして、その利用法は確立されています。そういう意味では、しそ、みょうが、あさつきなど、日本料理で使われる香菜類もハーブです。



7月7日の七夕会
越原保育園より

旬の話

ハーブ

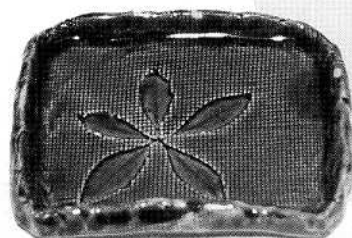
私の作品



▲「ダンボールでつくった時計」越原保育園年長組15人

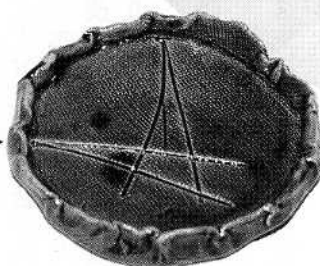


▲「クワガタとほく」
安江孝予さん（宮代）
東白川小学校2年生

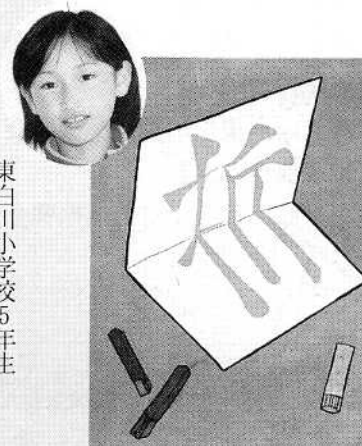


▲陶芸「小皿」
今井啓一さん（平）
高齢者生きがい事業

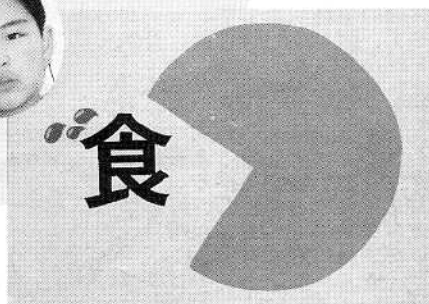
▲陶芸「小皿」
河田あや子さん（西洞）
高齢者生きがい事業



▲壁掛け「ポケットモンスター」
東白川小学校5年生
安江尚也さん（黒淵）



▲あーとする文字「折」
村雲亜矢さん（西洞）
東白川中学校2年生



▲あーとする文字「食」
新田真也さん（平）東白川中学校2年生

心のオアシス

東白川村百科

8・17 集中豪雨

昭和43年(1968年)8月17日、台風7号は衰弱しながら日本海北部に達した。一方南下した大規模な寒冷前線が新潟北部から北九州に掛かって、台風と入り組む型になっていました。

台風の運で来た大量の湿った空気と、それより上層の乾いた冷たい空気は、岐阜県上空で頂上13,000メートルに達する積乱雲をつくったのです。

この積乱雲(雷雲)の下になった加茂郡、益田郡南部、郡上郡南部は17日夜8時ごろから翌朝にかけて、激しい雷雨に見舞われました。

寒冷前線の動きがゆっくりであったため、一晩中豪雨と雷の下にあった私たちの村では、総雨量317mm、まさにバケツの水を8時間以上もかぶり続けたような豪雨にさらされ、なすすべもなく、一夜明けて目の前に広がった光景は、死傷者2名、家屋全半壊10戸、浸水136戸、農地流失埋没決壊99ha、山崩れ306か所、道路橋梁流失決壊156か所、という惨状でした。

104人の命が飛騨川に消えたバス転落事故(白川町)もこの時で、のちに「8・17災害」と呼ばれました。



「銀河鉄道の夜」

宮沢 賢治 著

「銀河鉄道はね、天の川の左の岸にそって、ずうっと南のほうへつづいているんだ。」車の中がぱっと明るくなって、汽車のゆくてから、白く光る羽をした美しい白鳥がなん百となくむれをなしてとんできました…。賢治の童話の世界を親子で楽しんでみませんか。



短歌

亡夫が語りしゴビの砂漠の砂あらし今年も吹くか北支の空に

三戸 きり

組板のくぼみは亡妻の年季あと裏返しわが鯖をぶち切る

安江 香

晩霜のこぬこと願いお茶畑へ雨降る前を芽出し肥ふる

荻田 清美

玉子焼きジュワーと黄色広がって四月の朝が一番あうね

小林 道子

街路灯の明り背にうけ影ふみて歩めば月も先に進めり

(平) 安江 節子

カルテ綴り「今まで生くるを不思議」とう夫よ生きませ生きて見せませ

(去年の九月) 田口かずみ

冬長く春を待ちいし花々の群咲く庭に心はあそぶ

安江 龍玉

息子画我ながら良く描けておるおぼろ月夜に花びら散つて

安江すみよ

鶯の谷渡りの声近くして午後ひとときうつとりと聞く

今井 かな

神前に米寿の祝詞有難く樽を開きてお神酒いただく

(親田) 安江 節子

こっそ症ためらい乍ら今日も来て医師の説得恥らうて聴く

安江 守平

ぶかぶかと水に漂ふ舟のごとし実のなき話を良しとするなら

小池 弘子

茶の施肥を急ぐ道の辺紅深き椿の落花は踏まずに通る

安江 澄

よすぎとせし六十余年の電工の職退きて吾れ山畑に佇つ

安江嘉久一

肩よせる人もなきいま十六夜の月のかげりをわれひとり見る

安江とくよ

土に散るさくら花びら集めて酔いものとして春をあじわう

早瀬 久子

通勤のお供を終えし黒きリュック部屋の片隅にボンとありて

今井 米子

老いし吾等無心に作る皿小鉢粘土遊びの幼子のごと

(陶芸教室) 伊藤 美枝

受け止めし腰痛は身に育ち朝夕の寝起きざまに哀しき波うつ

伊藤 重雄

皆様の作品をお寄せください。ご投稿は偶数月の二十日までに
今月から越原安江嘉久一宛にお出し下さい。

し せ お ら

連絡
募集
行事

information

自衛官等募集

二十一世紀へ翔る

防衛庁では、自衛官等の募集を行っています。

応募資格は、日本国籍を有し、平成十年四月一日現在、次の各号に該当する方
一般曹候補生／十八歳以上二十四歳未満
曹候補士／十八歳～二十七歳未満
航空学生／高卒（見込）二十一歳未満
防衛大学校学生／高卒（見込）二十一歳未満
防衛医科大学校学生／高卒（見込）二十一歳未満
看護学生／（見込）二十二歳未満の女子
自衛隊生徒／中卒（見込）十七歳未満の男子
■くわしくは／自衛隊美濃加茂分駐所 ☎〇五七四一二

五・七四九五

電話勧誘による

資格商法にご注意

「講座を受ければすぐに資格が取れます」などと資格取得講座を受講する契約を結ばせ、大量の教材を一緒に売りつける商法です。

■相談事例／典型的なパターンは「ダイレクトメールを見ましたか」などと職場に電話があり、「受講するだけで国家資格が取れる」といわれ契約したが、虚偽の説明に気づき解約を申し出ると「すでに登録した」「口頭でも契約は成立する」などといわれ解約ができないうものものです。

■主な商品／行政書士、電気エネルギー関連、旅行関連、不動産関連など
■アドバイス／契約は口約束でも成立します。「ハイハイ」、「わかりました」「結構です」というあいまいな返事は禁物です。まず自分が必要と思わなければはっきりと断りましょう。

☆消費生活に関する御相談

は／岐阜県消費生活センター ☎〇五八二二六五〇九九

生活資金・住宅資金

ご利用のお知らせ

村では、労働組合の無い企業や個人の事業所で働いている方のために、財団法人岐阜県労働信用基金協会に出損金（基金財団）を拠出しており、村にお住まいの勤労者の方が、金融機関からの融資が必要とする場合、県労働金庫から借入ができるように協会が保証をします。

申込みのできる方／村に一年以上居住し、かつ同一事業所に一年以上勤務されている方
融資額／①生活資金（最高五〇〇万円まで）無担保扱いで十年以内の返済②住宅資金（最高五〇〇万円まで）有担保扱いで三五年以内の返済

申込み・お問い合わせ／県労働金庫美濃加茂支店フリーダイヤル ☎〇一二〇一六〇八六二三

村が色鮮やかに

染まった

「村を花でいっぱい」と六月十五日、二十二日の日曜日を中心に、各集落で花かざり活動が行われ、主要道路沿いや集落の花壇などに、約二万五千本のマリーゴールドが植えられました。

この花は老人クラブの皆様が春に種をまき、丹精込めて育てられたもので、赤や黄色の色鮮やかな花は、道行く人の目を楽しませてくれていました。また、保育園や小学校でも保護者や児童たちが、人権モデル地区の事業の一環として、花運動を展開しました。



こぼれ話



鮎の友釣り
が先月末に解禁になった。
太公望たちは

「あの掛かった時のぐいぐいとする手がたえがなんとも言えない」と云う▼一方、水の中の鮎たちにとってはそれこそ死に物狂い、まさに天国と地獄である▼ともあれ白川に親しむ季節の到来である▼さて、本名「キューウリウオ科アユ属」君の本来の生態は両側回遊型といって孵化した仔魚は海に下り、やがてまた川に帰ってくる。しかし、ダムによってほとんど海へ下ることとは出来なくなった▼近年、縄張り行動を示さないで仲良く集団で生活する鮎が多くなった。将来、友釣り漁法ができなくなる日が来るのではと心配▼心配と云えば、奇形の鮎をよく見かけるようになった。河川の汚濁が原因だろうか▼ところで天然記念物のオオサンショウウオ通称ハザコ君の寿命は百年という。この白川で暮らすハザコ君のため息まじりの呟きが聞こえる。「昔の白川はきれいで住みよかつたなあ…」▼なんとかしなければ！

(S)



再生紙を使用しています